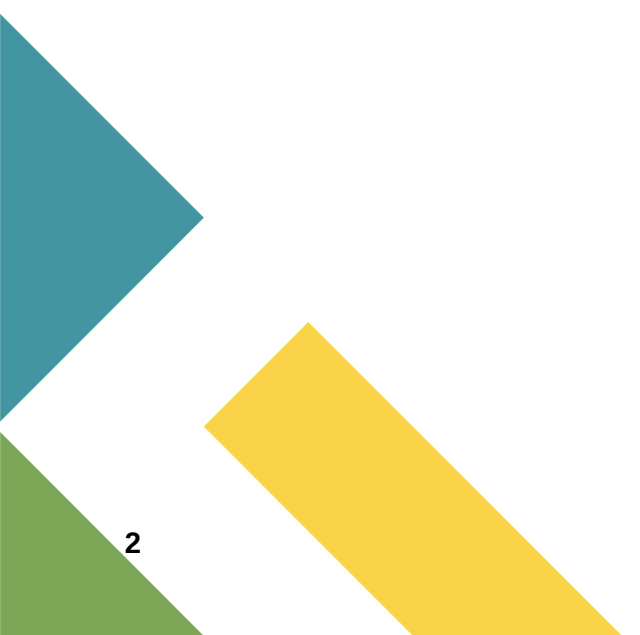


調布市立多摩川小学校 令和6年度

- Ⅰ 校内研究について
- Ⅱ 校内研修について

令和6年度



Ⅰ 校内研究について

昨年度の校内研究について

低学年・中学年・高学年の
生活・総合の授業実践

研究主題 **関わり合い学びを楽しむ子**

～協働的で個別最適な学びを意識した生活科・総合的な学習の時間の授業を通して～

(成果)どの授業においても、子どもが主体的に取り組む姿が見られた。

学校評価・校内研究のまとめより

(意見)子どもが主体的に学ぶことや自分の考えを表現することを伸ばしていきたい。

(意見)どのような授業実践をすると良いのか方向性をより具体的にしていきたい。

(意見)一人一実践の研究授業を行い、お互いに見合っていく方が授業力が高まると思う。

(意見)様々な教科や教員の授業実践を観て学び合いたい。

(意見)アンケート調査で結果を示すのではなく、数値に見えない部分こそ大切なのではないかな。

令和6年度 校内研究主題

**主体的に学び自分の思いを表現できる子
～PBL型授業の実践を通して～**

Problem Based Learning 問題解決型の授業
1時間の授業で実施されることが多い。

Project Based Learning 課題解決型の授業
長い時間(単元を通して)実施されることが多い。

なぜPBL型の授業が大事なのか

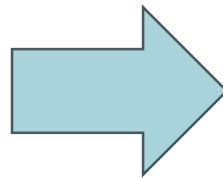
あらゆるものを取り巻く環境が変化し、将来の予測が困難な時代

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

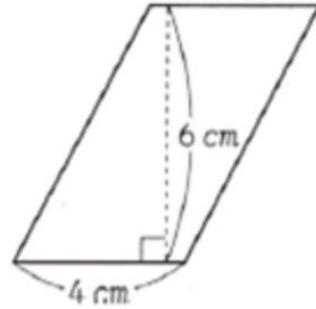
内容ベース
(コンテンツ・ベースト)



資質・能力ベース
(コンピテンシー・ベースト)

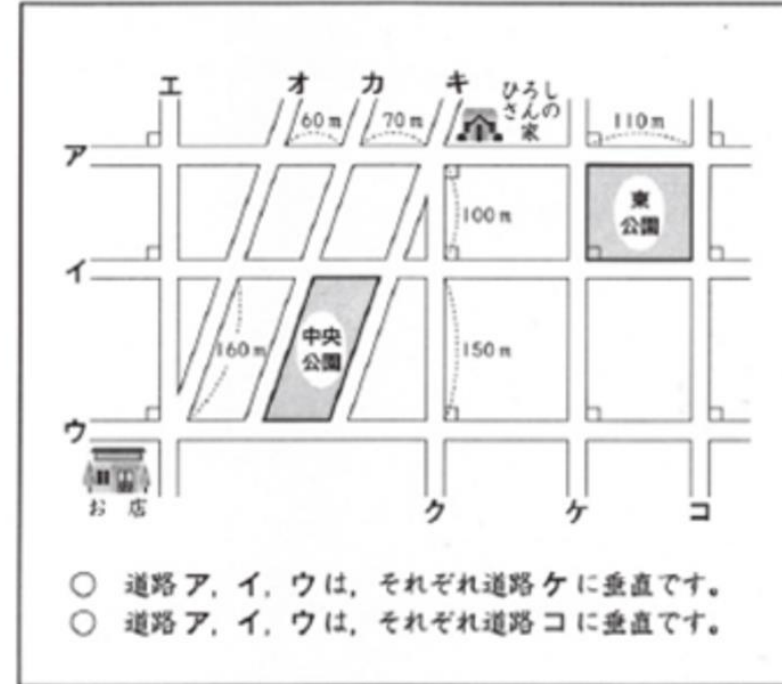
次の図形の面積を求める式と答えを書きましょう。(3) ひろしさんの家の近くに東公園があります。

(1) 平行四辺形



東公園の面積と中央公園の面積では、どちらのほうが広いですか。

答えを書きましょう。また、そのわけを、言葉や式などを使って書きま
しょう。



- 道路ア、イ、ウは、それぞれ道路ケに垂直です。
- 道路ア、イ、ウは、それぞれ道路コに垂直です。

図1-1 6年生算数のA問題(左)とB問題(右) (2007年度全国学力・学習状況調査)正答率：A問題96%、B問題18%

知識を一方向的に教えて、繰り返し練習させるだけでは、生きて働く知識・技能にならない！！

PBL型授業

主体的に学び自分の思いを表現できる子

これを繰り返すと

問題（ Problem ）や課題（ Project ）

個別最適な学び

自由進度学習

一斉授業

グループ
活動

協働的な学び

教え合い

対話

ICTの活用

各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせて解決する

振り返る

統合的に見る

発展的に考える

資質・能力が育まれる

問題(Problem)や課題(Project)

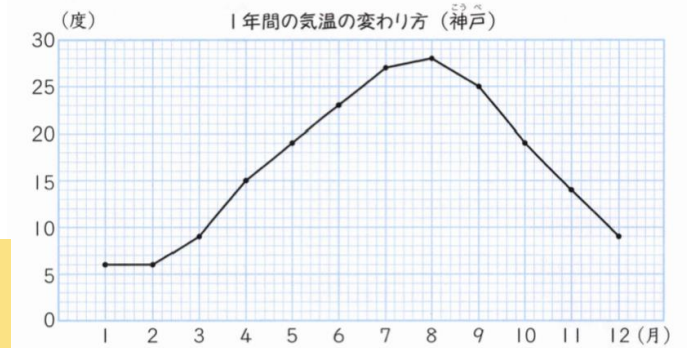
自分ごとになる問題や課題

多様な見方・考え方ができる問題・課題

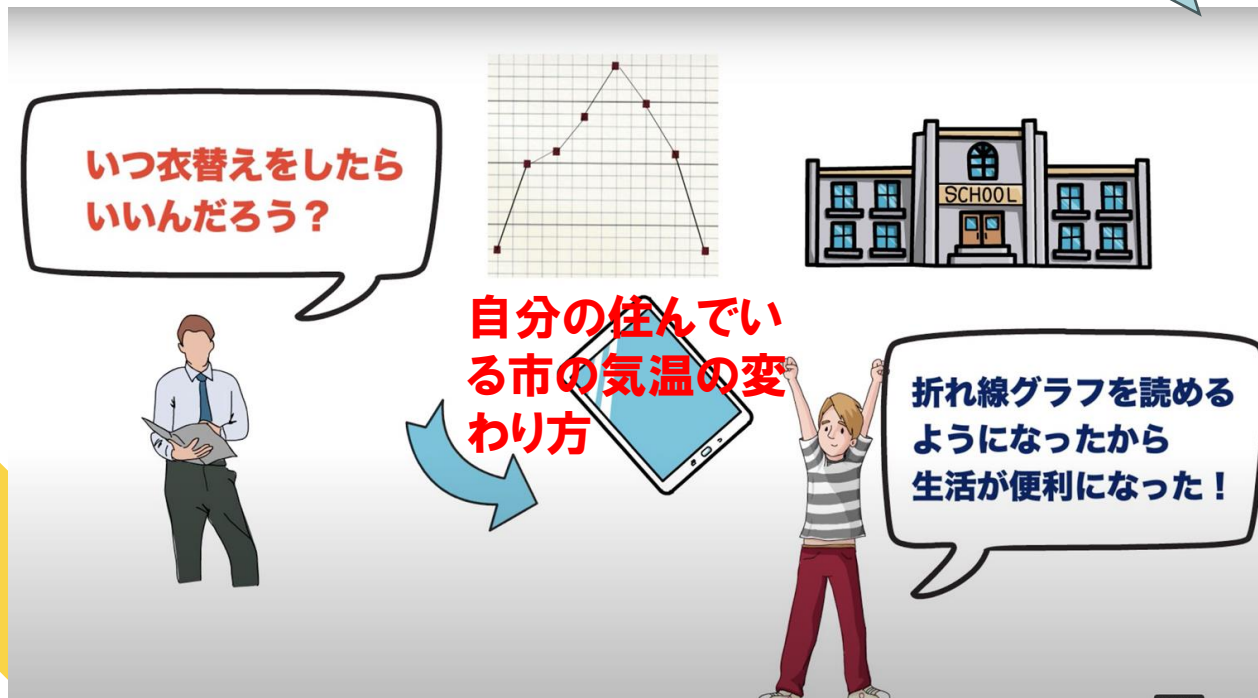
統合的・発展的に考えることのできる問題・課題

答えのない問題・課題

教科書の問題

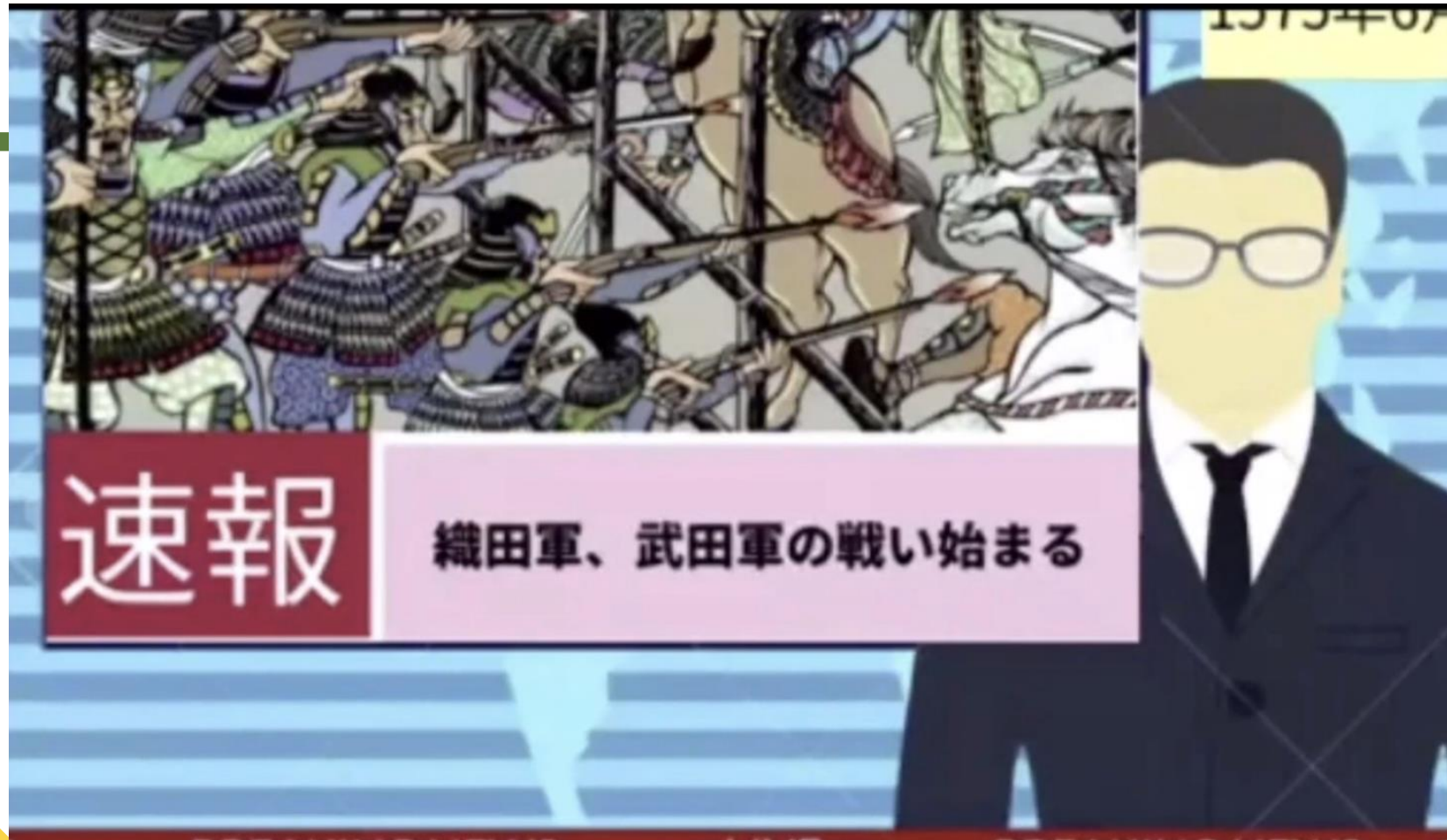


- ① 横のじくは、何を表していますか。
また、たてのじくは、何を表していますか。
- ② たてのじくの1めもりは、何度を表していますか。
- ③ 3月の気温は、何度ですか。
- ④ 気温が19度なのは、何月と何月ですか。
- ⑤ 上の折れ線グラフでは、ぼうグラフのように、気温が高い順に月をならべかえてよいでしょうか。



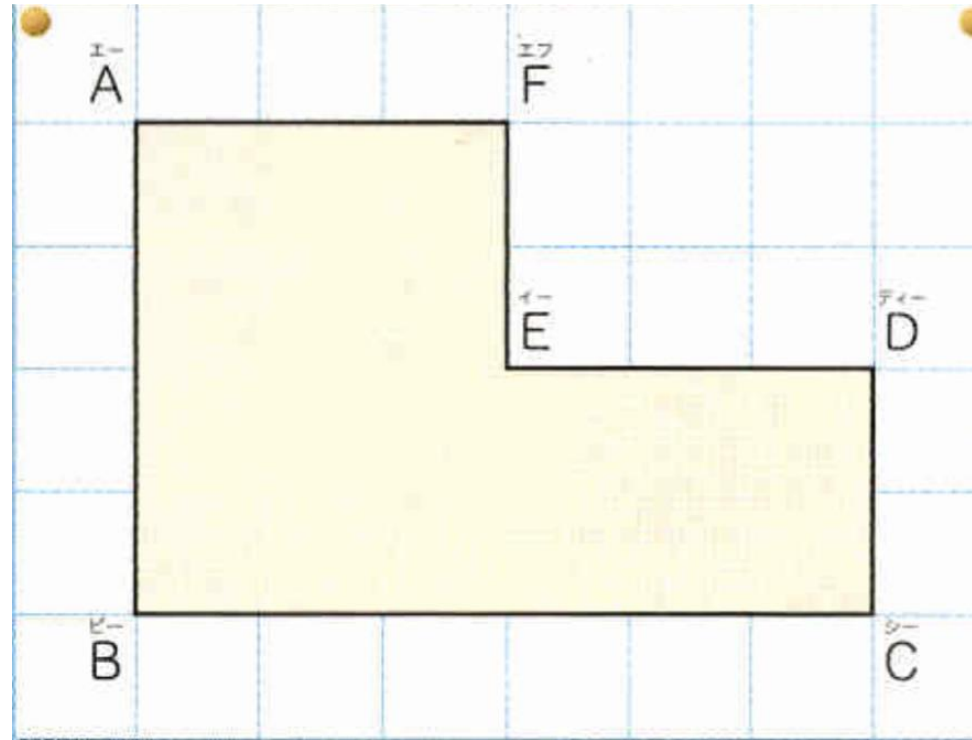
問題（ Problem ）や課題（ Project ）

「長篠の戦い」のニュース
を作ろう！



問題（ Problem ）や課題（ Project ）

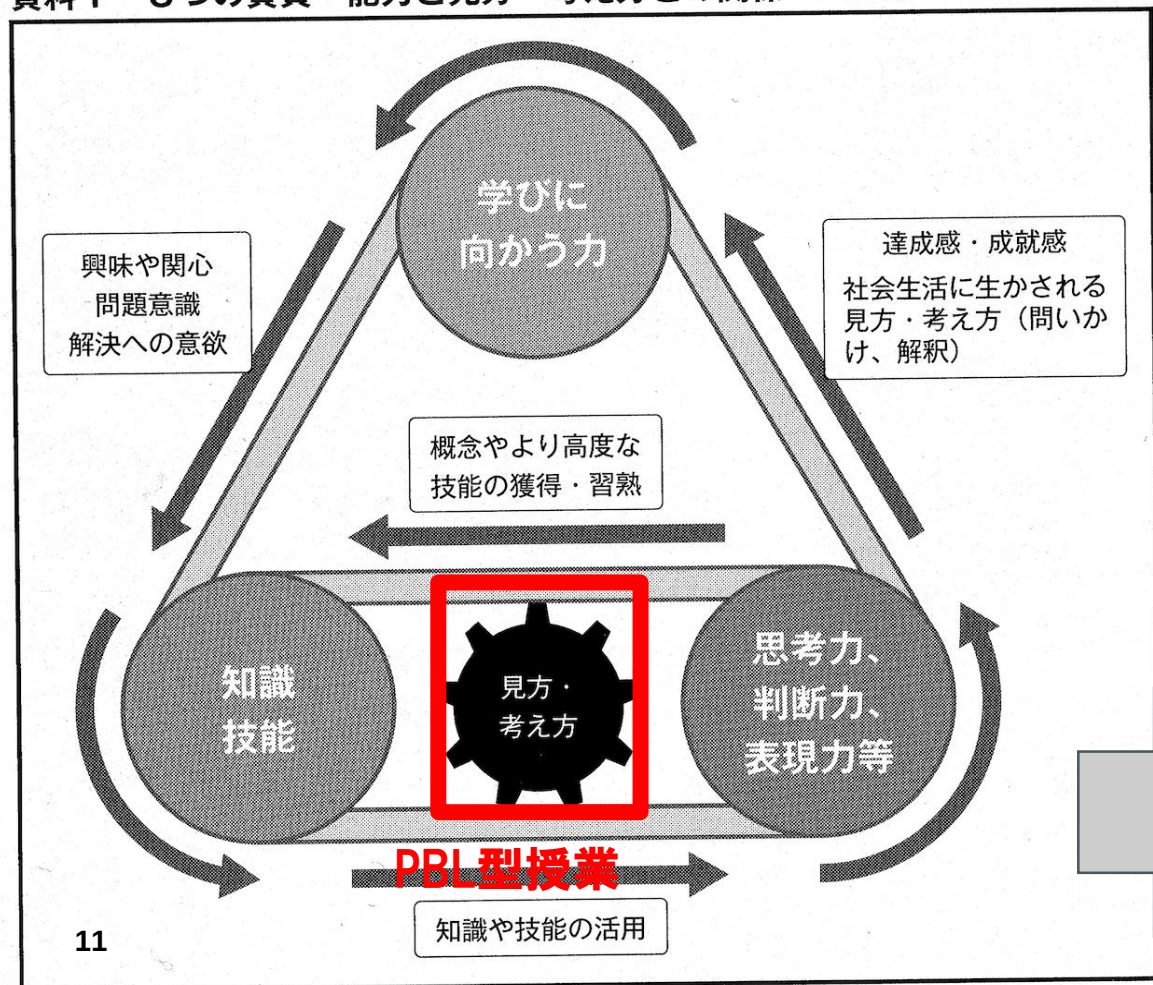
子どもが考え
ないといけな
いところ（補
助線を引く）
を明示しては
いけない！！



補助線の引き方を工夫してL字型の図形の
面積を求めよう！

各教科等の特質に応じた見方・考え方

資料1 3つの資質・能力と見方・考え方との関係



教科等	見方・考え方
国語 「言葉による 見方・考え方」	【小・中学校】 言葉による見方・考え方を働かせるとは、児童（生徒）が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること (根拠: 小〔中〕学校学習指導要領解説 国語編)
社会 「社会的な見 方・考え方」	【小学校】 ・社会的現象の見方・考え方 社会的現象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係に着目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること (根拠: 小学校学習指導要領解説 社会編) 【中学校】 ・社会的現象の地理的な見方・考え方（地理的分野） 社会的現象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること ・社会的現象の歴史的な見方・考え方（歴史的分野） 社会的現象を、時期、推移などに着目して捉え、類似や差違などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けること ・現代社会の見方・考え方（公民的分野） 社会的現象を、政治、法、経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること (根拠: 中学校学習指導要領解説 社会編)
算数 数学 「数学的な見 方・考え方」	【小学校】 事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること (根拠: 小学校学習指導要領解説 算数編) 【中学校】 事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的・統合的・発展的に考えること (根拠: 中学校学習指導要領解説 数学編)
理科 「理科の見 方・考え方」	【小・中学校】 【見方】 「エネルギー」を柱とする領域 主として量的・関係的な視点で捉えること 「粒子」を柱とする領域 主として質的・実体的な視点で捉えること 「生命」を柱とする領域 主として多様性と共通性の視点で捉えること 「地球」を柱とする領域 主として時間的・空間的な視点で捉えること 【考え方】 比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること (根拠: 小〔中〕学校学習指導要領解説 理科編)
生活 「身近な生活 に関わる見 方・考え方」	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとすること (根拠: 小学校学習指導要領解説 生活編)
音楽 「音楽的な見 方・考え方」	【小学校】 音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること (根拠: 小学校学習指導要領解説 音楽編) 【中学校】 音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること (根拠: 中学校学習指導要領解説 音楽編)

教科等	見方・考え方
図画工作 美術 「造形的な見 方・考え方」	【小学校】 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと (根拠: 小学校学習指導要領解説 図画工作編) 【中学校】 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと (根拠: 中学校学習指導要領解説 美術編)
家庭 技術・家庭 「生活の営み に係る見方・ 考え方」	【小・中学校】 家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること (根拠: 小学校学習指導要領解説 家庭編、 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編)
技術・家庭 「技術的分野」 「技術の見 方・考え方」	生活や社会における事象を、技術との関わり方の視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等に着目して技術を最適化すること (根拠: 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編)
体育 保健体育 「体育の見 方・考え方」	【小・中学校】 運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること (根拠: 小学校学習指導要領解説 体育編、 中学校学習指導要領解説 保健体育編)
体育 保健体育 「保健の見 方・考え方」	【小・中学校】 個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること (根拠: 小学校学習指導要領解説 体育編、 中学校学習指導要領解説 保健体育編)
外国語活動 外国語 「外国語によ るコミュニケ ーションにお ける見方・考 え方」	【小・中学校】 外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること (根拠: 小学校学習指導要領解説 外国語編、 中学校学習指導要領解説 外国語編)
特別の教科 道徳 「道徳にお ける見方・考 え方」	様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで（広い視野から）多面的・多角的に捉え、自己の（人間としての）生き方について考えること ※（ ）内は中学校のみ (根拠: 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について〔答申〕 小〔中〕学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編)
総合的な 学習の時間 「探究的な見 方・考え方」	【小・中学校】 各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるという総合的な学習の時間の特質に応じた見方・考え方のこと (根拠: 小〔中〕学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編)
特別活動 「集団や社会 の形成者とし ての見方・考 え方」	【小・中学校】 各教科等における見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結びつけること (根拠: 小〔中〕学校学習指導要領解説 特別活動編)

**主体的に学び自分の思いを表現
できる子**

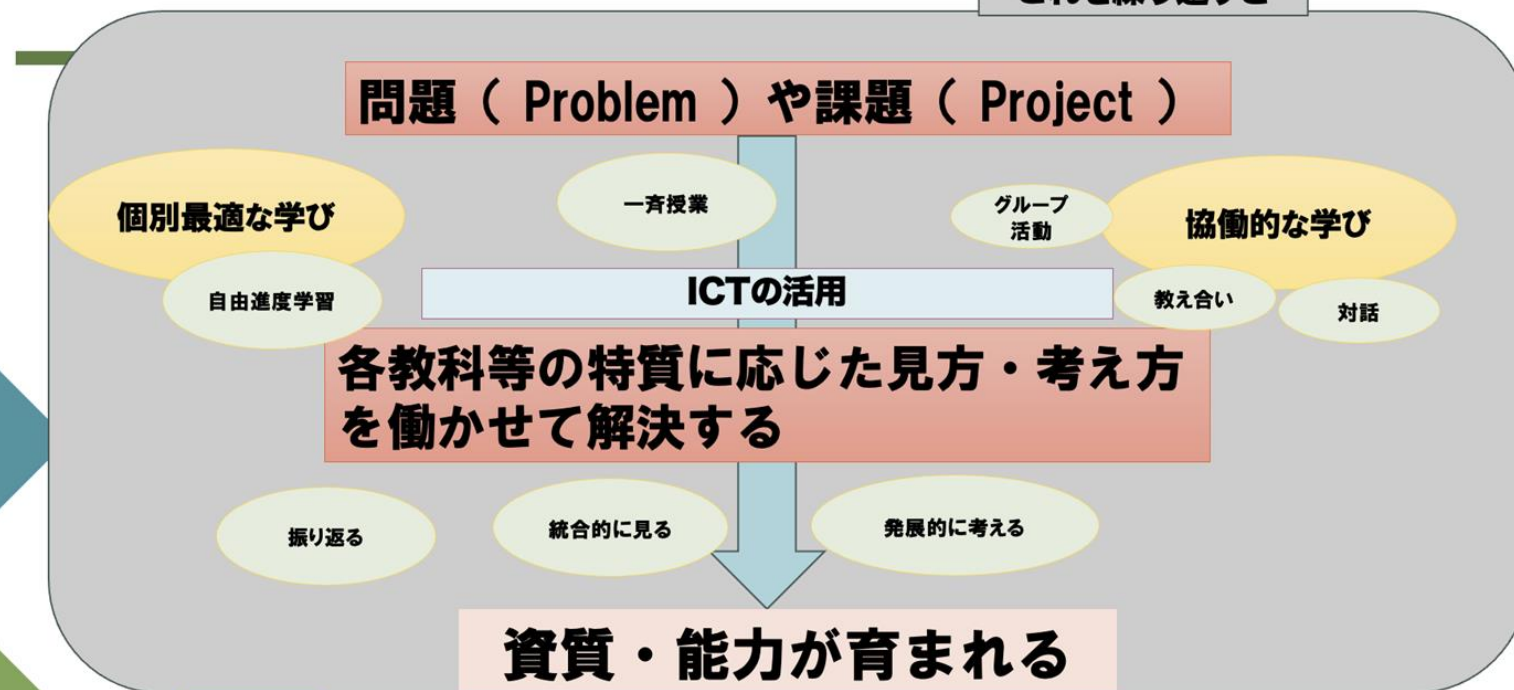
令和6年度 校内研究主題

主体的に学び自分の思いを表現できる子 ～PBL型授業の実践を通して～

PBL型授業

主体的に学び自分の思いを表現できる子

これを繰り返すと



研究方法について

量的研究法

- 比較「A指導法とB指導法の効果の比較」
- 実態調査「分からない問題があったら、自分で考える。」子どもが○%いる。
- 仮説検証・・・○○の手立てを行うことで、□□するだろう。

質的研究法

「○○の手立てを行うことで□□する子が○%増えた。」って本当？発達段階やその他の要因は考慮に入れなくて良いの？

ある子どもは上がって、ある子どもは下がって、平均○%上がったで良いの？

「なぜAの子は上がって、Bの子は下がったの？」という数値で表されない重要なところに焦点を当てることができない。

質的研究法

一般的に、観察したものを文章として記録していき、
事実を明らかにしていく方法

量的研究法と大きく違うのは、仮説検証を行うことが量的研究法で、**質的研究法は様々な具体的な事実を基に「○○になりそうだ。」と仮説を作る（仮説生成）ことがゴールになる。**

授業実践後、協議会で「PBL型授業で○○（手立て）すると、より主体的に学び自分の思いを表現できる子が育まれそうだ」ということを具体的に、グループで話し合い記録にまとめていく。

○○の手立てが良かったね。

○○すれば、もっと良いと思うよ。

研究スケジュール

5月～8月
学年グループ

- ・ 単元決め
- ・ 教材研究
- ・ 指導案作成

9月

異学年グループ
(4名・5名)

に指導案説明
※このグループの
授業または授業動
画を必ず視聴する。

9月～12月(1月までにまとめる)

- ・ 授業実践をする。
- ※**学年グループ**の教員に動画を撮影してもらう。
- ・ 授業実践後に9月～12月の間に**異学年グループ**と協議会を行い(また学年グループや授業を観察したその他の教員からも意見をもらい)「**主体的に学び自分の思いを表現する子を育む手立て**」を授業者がまとめる。

※Project Based Learning(課題解決型の授業)の場合は、単元のどの時間でも、実施可能です。主張したい場面を公開して下さい。

令和6年度



Ⅱ 校内研修について

令和6年度 Ⅱ 校内研修について

いろいろな先生
の話を聞きたい。

共有したいこと
○ICTの活用
○授業の仕方
○学級経営
○働き方改革

勤務時間内に研修
をして欲しい！

令和6年度 Ⅱ 校内研修について

伝えたい実践やチャレンジしてアドバイスをもらいたいものについて下の中から1～4個選んで発表する。

○ICTの活用

○授業で大切にしていること

○学級経営で大切にしていること

○働き方改革

令和6年度

Ⅱ 校内研修について

【場所】 理科室

【協議】 1グループ4人・5人（その中で、発表者2人ぐらい）

※発表者はA 4（1、2枚）に実践をまとめ説明する。

14：30～14：35

14：35～14：55 20分間（グループAで協議）

14：55～14：15 20分間（グループBで協議）

残りの時間は校内研究の準備等をする。

	校内研究	校内研修
4月 22 日 (月)	今年度の校内研究・校内研修について	
5月 22 日 (水)	単元決め・教材研究・指導案作成(学年)	ICT の活用について(グ)
6月 28 日 (水)	単元決め・教材研究・指導案作成(学年)	授業で大切にしていることについて(グ)
7月 17 日 (水)	単元決め・教材研究・指導案作成(学年)	若木学級の実践報告
9月 18 日 (水)	異学年グループに指導案説明	
10月 9 日 (水)	授業実践＋観察・異学年グループ協議	学級経営で大切にしていることについて(グ)
11月 20 日 (水)	授業実践＋観察・異学年グループ協議	
12月 11 日 (水)	授業実践＋観察・異学年グループ協議	
1月 29 日 (水)	協議会のまとめ	働き方改革について(グ)
2月 12 日 (月)	ベネッセコーポレーションの講師 庄子寛之先生の講演	